

# 令和5(2023)年度 看護職員就業実態調査結果(訪問看護ステーション)速報

※暫定値で表しています

<令和6(2024)年5月実施>

資料2

## 令和5(2023)年度 結果概要

看護職員の離職状況について

- ・全看護職員(常勤及び非常勤)の離職率は16.7%、前年度は18.1%で1.4ポイント減
- ・常勤看護職員の離職率は15.9%、前年度は17.2%で1.3ポイント減
- ・非常勤看護職員の離職率は18.0%、前年度は19.7%で1.7ポイント減

### 【今年度調査に関する補足】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行して以降初めての実施となった。また、今回より調査票の回収方法を従来のメールによる回収から、システムへのアップロードによる回収へと変更をした。

## I 調査方法及び概要

### 1. 調査方法

- (1) 調査目的 : 訪問看護ステーションの看護職員就業状況について実態を把握し、看護職員確保対策に活用する
- (2) 調査対象 : 神奈川県内の訪問看護ステーション1049事業所(前年度対象933事業所)  
(事業所情報 令和6年4月1日版 県高齢福祉課)
- (3) 対象期間 : 令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日
- (4) 回答数 : 759事業所 有効回収率72.4%(前年度回収率70.2%)
- (5) その他 : 図及び統計表の数値は小数第二位を四捨五入しているため、項目の和が合計とは必ずしも一致しない  
: 未回答等のため設問により回答数が異なる場合がある

### 2. 事業所の背景

(1) 開設年度別事業所数 n= 759

開設年度(開設期間)	事業所数	構成比
令和6年度以降(1年未満)	14	1.8%
令和4,5年度(1～3年未満)	114	15.0%
令和2,令和3年度(3～5年未満)	89	11.7%
平成27～平成31/令和元年度(5～10年未満)	197	26.0%
平成26年度以前(10年以上)	345	45.5%

(2) 管理者経験年数 n= 724

経験年数	事業所数	構成比
1年未満	53	7.3%
1～5年未満	331	45.7%
5～10年未満	184	25.4%
10～20年未満	131	18.1%
20年以上	25	3.5%

(3) 看護職員 実人員数、常勤職員数及び常勤換算数

実人員数(R5.4.1現在) n= 718

実人員数	事業所数	構成比
5人未満	171	23.8%
5～10人未満	363	50.6%
10～15人未満	128	17.8%
15～20人未満	31	4.3%
20人以上	25	3.5%

常勤職員数(R5.4.1現在) n= 714

常勤職員数	事業所数	構成比
3人未満	136	19.0%
3～5人未満	280	39.2%
5～7人未満	159	22.3%
7～10人未満	92	12.9%
10人以上	47	6.6%

常勤換算数(R5.4.1現在) n= 718

常勤換算数	事業所数	構成比
3人未満	10	1.4%
3～5人未満	313	43.6%
5～7人未満	161	22.4%
7～10人未満	138	19.2%
10人以上	96	13.4%

(4) 月訪問件数(R5.9分) n= 759

訪問件数	事業所数	構成比
100件未満	71	9.4%
100～400件未満	251	33.1%
400～700件未満	170	22.4%
700～1,000件未満	100	13.2%
1,000件以上	118	15.5%
未回答	49	6.5%

(5) 月残業時間(R5.9分)

二次医療圏	平均時間
横浜	5.66
川崎	5.60
相模原	7.17
横須賀・三浦	6.37
湘南東部	4.58
湘南西部	8.73
県央	6.73
県西	4.33
県全体	5.98